

市社会福祉協へ 車いすを寄贈

ヤナセ労働組合

輸入自動車販売会社、ヤナセの労働組合（東京都港区、山下雅弘中央執行委員長）は18日、社会貢献活動の一環として、車いす一台を市社会福祉協議会（高梨

茂樹会長）に寄贈した。

同組合は、組合員約3300人とその家族、顧客らの協力でリングブル約540銚を1年かけて集め、車いす1台と交換した。

中央区の市社会福祉協議



山下執行委員長（左から3人目）から車いすと目録を受け取る高梨会長（右）

会内で寄贈式が開かれ、山下執行委員長から高梨会長に、車いすが贈られた。

高梨会長は「組合の皆さん一人一人の貴重な善意と思いが詰まった車いすを、市民のニーズに合わせて大切に活用していきたい」と話した。

同組合はこれまでに札幌市とさいたま市の社会福祉協議会などに車いすを寄贈しており、今回が4台目。